

# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.45

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和7年 3月21日



## 明るく かしこく たくましく

3月21日(金)、令和6年度の学校生活を締めくくる修了式を行いました。

1年生から5年生まで、学級担任の点呼に応じて元気な返事をし、代表者が修了証を受け取りました。その後、代表児童が一年間を振り返ったお話を発表しました。自分ができるようになったこと、成長したことを見つけて、次の学びへの期待を膨らませていることが伝わる発表でした。

### 1年 こ\*\*\*さん

私は、1年生でできるようになったことが二つあります。一つ目は、漢字が書けるようになったことです。20問モンテスとで合格するために、家庭学習ノートに練習しました。難しい漢字もあったけど、たくさん練習をしたので、合格することができました。二つ目は、たし算、ひき算ができるようになったことです。授業参観では、お家の人の前で、たし算、ひき算の問題をすぐに答えることができました。たくさん拍手をもらって嬉しかったです。これからも新しい問題にチャレンジしたいです。2年生になったら1年生で学んだことを新一年生に伝えたいです。

### 3年 佐\*\*\*さん

私が3年生になって特にがんばったと思うことは二つあります。一つ目はなわとび集会です。それまでのなわとびタイムで練習を一生懸命がんばりました。…二つ目は3年生になって習ったかけ算の筆算です。…がんばって計算ができるようになったことがとても嬉しかったです。…4年生になってがんばりたいことは三つあります。一つ目は4年生から始まるクラブです。…二つ目は来年の1～3年生のお手本になれるようにしたいです。…三つ目は国語の作文する力を伸ばすことです。3年生でがんばってきた最後までがんばることを生かして、4年生では三つのことができるようになります。

### 5年 村\*\*\*さん

私が5年生でがんばったことは、二つあります。一つ目は外国語です。…メタモジを使って由利本荘市の有名な場所を英語で紹介できたのが嬉しかったです。…二つ目はあいさつです。特に企画委員会でいったあいさつ運動では、ときめきあいさつを意識して取り組みました。6年生になったらがんばりたいことは三つ在ります。一つ目は理科の勉強です。…二つ目は委員会活動です。…三つ目はスポ少です。6年生になっても、何事にもチャレンジし、仲間とたすけあいながら粘り強く取り組みます。そして、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



## 感動の門出 卒業式

3月14日(金)、由利本荘市長湊貴信様をはじめとするたくさんのご来賓をお迎えし、卒業式を挙行了しました。壇上で立派に卒業証書を受け取る11名。

全校で歌った国歌・由利本荘市歌・校歌の迫力と子どもたちの姿に来賓あいさつでは、湊市長からお褒めの言葉をいただきました。小松PTA会長は「当たり前」を通して保護者の思いを語ってくださいました。

体育館いっぱい響き渡る在校生の歌声。在校生は、大好きな卒業生への思いをこめて歌いました。歌声は、時に力強く、時に優しく響き「大空がむかえる朝」の最後のフレーズ「忘れないでね ともに過ごした日々をいつまでも」が一層胸にしみました。

## 令和7年度 主な行事予定

- 3月27日(木) 離任式 ※内ズック、ズック袋を忘れずに。  
下校スクールバス 10:15
- 4月 7日(月) 新任式・始業式  
下校スクールバス 2~5年生 13:25 6年生 15:10
- 4月 8日(火) 入学式 全校5校時限  
下校スクールバス 2~6年生 15:10
- 4月 9日(水) 全校5校時限
- 4月15日(火) 本荘由利教育研究会のため全校3校時限  
下校スクールバス 12:35
- 4月17日(木) PTA役員会・校外指導部会
- 4月21日(月) PTA参観日(授業参観・総会・学級懇談)
- 5月10日(土) 鳥海小・中合同運動会
- 6月10日(火)~6月11日(水) 5年生自然教室  
6月25日(水)~6月26日(木) 6年生修学旅行
- 7月23日(水)~8月23日(土) 夏季休業(実質8月24日まで)
- 9月25日(土) 飛鳥祭
- 10月17日(金) みんなの登校日(マラソン大会・なべっこなど)  
由利本荘市PTA連合会研修会・鳥海地区PTA研修会
- 11月13日(木) ICT活用授業力向上事業授業研究協議会・市授業実践研究会
- 12月26日(金)~1月13日(月) 冬季休業
- 3月13日(金) 卒業証書授与式  
3月19日(木) 修了式



## 「褒めること」と「認めること」の違い

大人の側に見れば、「褒めること」も「認めること」も違いはあつてないようなものかもしれません。多くの子どもにとっても、その違いはないでしょう。けれど、「認めてほしい」「認められたい」と思っている子どもには、違うのです。時として「褒められても嬉しくない」といった反応も出たりします。

「褒める」ときは、一般に大人の基準や水準で「褒める」ことが多いそうです。大人側の基準で一定の水準に達したり超えたりした評価が「褒める」という行為で、水準に達しない場合は「がんばりなさい」と叱咤激励することになります。

それに対して、「認める」とは、一般に子どもの基準や水準で褒められたい時と言えるそうです。認められたい場合というのは、子どもなりの努力や工夫したことを「認められたい」、つまり子ども自身のこだわりを共有できていて「認める」という行為につながります。子どもの実際の行動と向き合うことなく、表面的にお世辞を言ったり、ちやほやしたり、全員をひとくりにして「みなさん、よく頑張りました」と褒めたとしても、子どもはさほど嬉しくもなく励ましにもなりづらいかもしれません。

一人一人をきちんと見て、子どもたちが「こだわった」「見てほしかった」ことに触れて認めていきましょう。

以上のことを、年度末に職員で共有しておりました。年度末は、子どもたちの自己有用感を高めるチャンスの時です。この機会に、ご家庭でも「褒める」「認める」を意識してみませんか。